





く百五十万、支本清願が百四十万四千四百十八日、こ  
ういふ事。その外役務費、委託費、庁舎の清掃関係  
かとの多しを占めておるわけでございます。文書など  
報費は百六十四万六千六百八十九日、これは広報の印刷費  
にござります。それから職財産管理費、会計管理  
費等は主として消耗品、予算、決算の印刷費等が  
多くを占めておるわけでございます。渉外費におい  
ては支本清願が四十一万六千六百八十二日、これは主と  
して防犯施設等から国庫補助金として四十一万九千八百五  
十円、さうあります。これは基地関係の渉外費に  
充てるおるものでございます。それから自衛隊の管理費  
としましては三十九万二千二百六十九日、交通安全対策費とし  
て三百九十七万五千四百六十六日、これは昨年度から国庫  
補助金によりまして交通安全施設としてカーブミラー  
等を設置した費用でございます。

行政費の



支本者額が二ナ六万六千二百ニ日、二めは新市制  
實現運動のための費用でございませう、新市制の  
期成会の負担金ナ万日とその他諸費でございませ  
う、徴税費の三千八百一十一ナ百二十日ほか主として  
税務関係の取立金ナ万その他でございませう、税務  
関係における補助金の補助金七ナ万六千日  
、野市組合連合会の補助金ナ万日等でありませ  
う、その他戸籍住民登録費でございませうが二  
めは主として住民課関係の取立その他でござ  
いませう、支本が一ナ百四十三万九百二十日でござ  
います、先きほど申し上げた通りによりに住民課  
関係を取り扱った各種証明等の事務をこの予算で  
行はさるゝおるわけでございます、つぎに外人登録事  
務費で九万九千九百一十一日、二めは主として外人登録  
事務の消耗品その他でございませう、二めは参考までに  
、現在三月三十一日現在で福生村に登録されてあり





るわけでございますが、その報償金でございます。  
 ことに児童福祉費で四千五百五十万九千九百四十  
 円でございますが、主として児童の給与その他ござい  
 ます。このうち負担金補助金おまじは金は九  
 十九万五千五百八十一円、砂場とか遊具施設の補助金  
 、それから民間保育所の施設の補助金等が支出さ  
 れております。児童措置費におきまして二千四百  
 四十万七千八百十一円の支出でございます。これは主  
 として保育所に委託して子供に児童に好する委託  
 料でございます。二に好む子供は国や都府から  
 負担金が入って参ります。さらに保育料等が  
 入る参りますので、実際にはその差額分を一般の  
 所から支出する形になっております。委託料  
 とは二千四百二十四万五千五百二十円、手間と  
 したわけでございますが、各保育所に三三三保育  
 所、食め子、児童が五百十二万二千五百円、その中



中が市立関係、東福、若葉、加美平の三百三  
 十万に好む手間の委託料が二の金額に好むお  
 るわけでございます。ことに児童福祉施設費で  
 二千四百三十三万九千七百七十一円、これは主としてスミレ  
 保育園の経費費でございます。つぎにスミレ保  
 育に建設費で千八百三十二万四千六百六十七円、これは  
 ほご子供のためにスミレ保育所に設備改善をいたし  
 ました経費でございます。そのほかものは委託  
 料の百十万一千九百六十一円、これは設計委託料ある  
 いは監督料等でございます。工事請負費で千  
 六百九十四万二千七百三十三円、これは工事費でござ  
 います。災害救助費では、阪手は大きな災害  
 はありませんが、この一万二千円、これは火災の見  
 無金等でございます。つぎの住生費に参ります  
 二千三百七十九万七千四百三十九円の支出でござい  
 ます。これは

「議長」と呼ぶ者あり」

議長（石川信義君）

四番

山番

（西野鉄之助君）

收入役の事項別説明については極め

て詳細は説明をいたしたところありすか、すくに

議長もわからぬ、のちまたにもありすか、

のちのへんを説明を打ラ切らしたところありすか、

とを私は思いました、

議長（石川信義君）

お聞きのとおりにたいして四番議員より

発言されたところあり、説明はこの程度にとどめよう

議長（石川信義君）

「議長」と呼ぶ者あり、

議長（石川信義君）

「議長」と呼ぶ者あり、

議長（石川信義君）

「議長」と呼ぶ者あり、

午後 三時 三分休憩

議長（石川信義君）

休憩中に引き続る公議を申し

議長（石川信義君）

つぎに監査委員から監査結果

に付て報告願います。

監査委員 下野行夫君

監査委員 下野行夫君

昭和四十三年度の一般公計

監査委員 下野行夫君

昭和四十三年度の一般公計

監査委員 下野行夫君

昭和四十三年度の一般公計

監査委員 下野行夫君

昭和四十三年度の一般公計

監査委員 下野行夫君

昭和四十三年度の一般公計

監査委員 下野行夫君

昭和四十三年度の一般公計

監査委員 下野行夫君

昭和四十三年度の一般公計

監査委員 下野行夫君

昭和四十三年度の一般公計

監査委員 下野行夫君

昭和四十三年度の一般公計

監査委員 下野行夫君

昭和四十三年度の一般公計

にのぐりです。

ス入におりはその収入率一〇二・九%であり、  
税におりては四百〇日の増収とほつてありすが、  
税におりては昭和四十一年度の九五%とピークに  
なつて低下の傾向にありまして本年は九三%とほつ  
てあります。二にいつては所税機構の整備等積極  
的におりて望みありてあります。その他振興に  
会におりては百〇日の増収、二には行政配慮  
に力とつて増収が年度末にいたる増収とほつた  
の起債におりてはさいふの起債四百〇日の増収  
と、おしお掌権の困難は要事とありて思ひますが  
より適確な予算の見積りをして期待したすべから  
す。

ス入におりては執行率は全体で九六・一%とほつてあ  
ります。金額におりては三百四十四万八千〇〇〇円の執行率は  
やまといふのと考へらるゝ。特に土木費におりては三百



万円の執行率におりてはス・ス・ス街路の用地費四百  
万、二には街路の用地費が起債対象分といふ  
が用地特別会計に組み入るゝ。二にはふるふる額で  
あります。ス・ス・ス街路基金との関連もあり、  
リ積極的は施策が要するゝ。ス・ス・ス道路新設  
その他は東はの財政調直費百〇万、道路新設  
改良費二百三十万は案がおりて、事業の進行に  
上を占め得なかつたのと考へらるゝ。民生費に  
おける増収は国保会計の増収とほつてあり、国保  
会計との関連上を占め得ないのと思ひます。その  
他の科目にても若干の増収があるとの見解とほつ  
て執行率は大旨良好と思ひます。一、財政関係  
の点では収入率七六・一%と大旨良好なものと  
思ひ、各府は存人件費の増加にふる財政の硬直化  
が懸念あり。人件費は既におこさるゝ。二、意見書でも述  
は好まらぬ状態といふ。三、意見書でも述

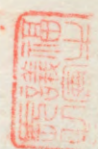






を申しあげます。

(昭和四十三年度福生市国民健康保険特別会計  
の決算報告書 朗読) 省略  
は、お補足説明を申しあげます。二の国保会  
計におおきくは、市町村の多くがその運賃に苦慮  
している段階であり、福生市は、百六十二万円の剰余金  
を生じたことは、極めて好ましい状態であり、その二の  
ため一般会計から予定より少なくなった三百万円の繰  
り入れは、行なわれなかったためであり、その二の東  
田に、ついで、いろいろあり、その二の調を、その  
中の、ほ、診療料金が、常に流動的であり、その伸長率、か  
大いに下回ったことにあると考へらる。また、  
その二の、他において、市国庫補助金の増収、その二の、  
会計より、繰入金の増減等の条件が、積み重ねられ、  
に、結果、子算、繰上見通しに、マダ、百六十二万、  
の二、や、む、を得、な、かつ、た、もの、と思、え、ま、す、  
こ、か、し、な、が、



う、国保会計の現状は、は、げ、が、し、ち、も、楽、観、す、べ、き、状、態、  
と、な、り、ま、せ、ん、の、で、今、後、の、運、賃、に、つ、い、て、も、細、心、の、注、意、  
を、ほ、う、い、に、配、費、の、節、減、は、カ、ラ、う、ん、と、入、の、増、加、を、は、か、  
り、保、険、者、の、苦、痛、を、通、さ、す、道、正、に、診、療、報、酬、  
の、支、払、と、健、全、化、の、努、力、を、並、に、カ、の、で、あ、り、ま、す、  
以、上、を、総、合、さ、す、本、決、算、は、適、正、な、もの、と、認、定、し、た、  
事、が、ま、ご、う、い、ま、す、。さ、う、し、く、二、増、減、の、う、え、二、認、定、  
を、う、ん、と、し、て、お、願、い、し、た、し、ま、す、。

議長(石川信義君) 一の、市、の、算、定、を、行、な、す、。

(二の、答、は、こゝ)

議長(石川信義君) 以、上、を、算、定、を、終、り、す、。

お、は、かり、い、た、し、ま、す、。下、だ、い、に、予、算、題、と、な、つ、て、あ、り、  
ま、す、予、算、案、が、六、十、号、に、つ、い、て、は、二、の、を、認、定、す、る、こ、と、  
に、二、の、算、定、を、し、ま、す、。

(一の、算、定、を、し、と、呼、ぶ、者、あ、り、)

議長(石川信義君) 二の、算、定、を、し、と、認、め、ま、す、。さ、う、し、予、算、